

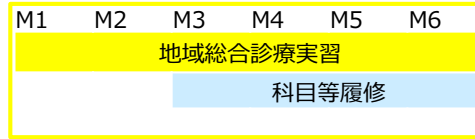
地域を支え地域を科学する総合診療医の育成

岡山大学と地域医療機関・自治体が連携してリサーチマインドと優れた臨床能力を有した総合診療医を育成する。

臨床：中山間部研修と都市型研修を組み合わせたオーダーメイドGP研修プログラムを構築、地域に根差した**Heartful GP**を育成。

研究：アカデミックGP養成コース（博士課程）とMPHコース（修士課程）を設置、臨床現場から臨床研究や質的研究を介してエビデンスを発信する**Artful GP**を育成。

地域を支え・科学する総合診療医 (GP) 育成のプログラム全体像



地域総合診療実習コース（学生）

GP養成コース（後期研修医・大学院生）



インテグレーションGPコース（一般医師・復職医師など）

Heartful GPの育成 全人的医療の実践

様々な要請に対応出来る多彩な強みを持った総合診療医(GP)の育成環境を整備し、全人的医療を実践出来る若手リーダーを育成する。

総合診療医育成環境の整備

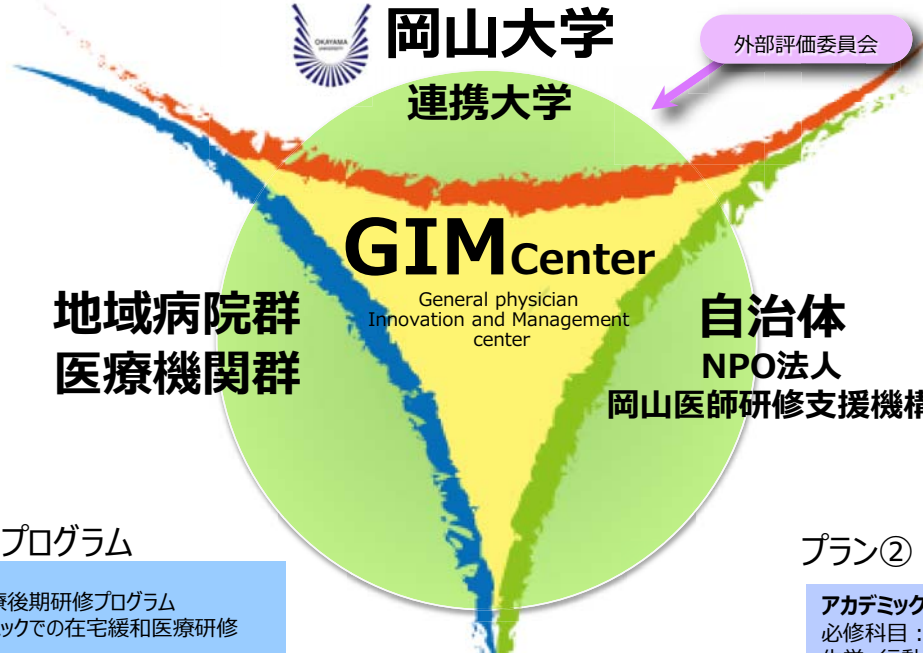
- 岡山県内5つの地域を総合診療医育成拠点に
- 6人のGP指導医が大学-地域の両方でシームレスにキャリアサポート
- それぞれの地域特性を生かした研修コースを設定
- シミュレーション医療教育を用いた多職種連携プログラムを用意

Artful GPの養成 リサーチマインドの醸成

総合診療医(GP)が、日常診療の現場で感じた個々の臨床的疑問をシーズに、質的研究の成果を疫学モデルへと繋ぎ、プライマリケア領域の課題解決へ向けた臨床研究を実際に行い、総合診療におけるEBMを発信できる人材を育成する。

地域基盤型研究指導体制の構築

- 岡山大学医歯薬総合研究科にアカデミックGP養成コース（博士課程）とMPHコース（修士課程）設置
- 岡山大学新医療研究開発センター臨床研究部の研究指導体制
- 県北の公立新見大学、吉備国際大学、美作大学に臨床研究支援室を設置



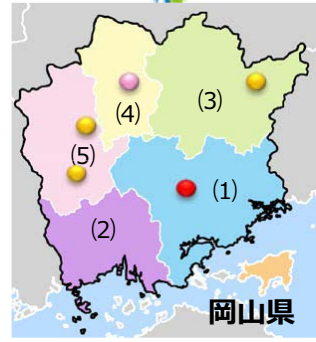
プラン①：地域基盤型総合診療研修プログラム

- 都市型GP研修
- 県南東部エリア**
 - 岡山大学病院総合内科・清輝橋グループの家庭医療後期研修プログラム
 - 岡山赤十字病院緩和ケアチーム・ももたろう往診クリニックでの在宅緩和医療研修
 - 岡山市立市民病院での総合診療研修・ER研修
 - 岡山県精神医療センターでの認知症研修
 - 県南西部エリア**
 - 川崎医療福祉大学との連携による多職種連携研修
 - 倉敷中央病院、川崎医科大学病院での救急研修
 - つばさクリニックでの在宅緩和医療研修
 - きのこエスポアール病院での認知症研修
 - 県北東部エリア**
 - 奈義ファミリークリニック家庭医療後期研修プログラム
 - 津山中央病院（内科学会教育関連病院）での内科・救急・小児科研修
 - 美作市立大原病院での内科・救急・研修
 - 県北中央部エリア**
 - 金田病院（内科学会教育関連病院申請準備中）での内科、救急研修
 - 湯原温泉病院（へき地医療拠点病院）での内科、リハビリ研修
 - 県北西部エリア**
 - 哲西町診療所、川上町診療所における地域包括ケア研修
 - 成羽病院・渡辺病院、高梁中央病院（内科学会教育関連病院申請準備中）における内科、救急研修
- 中山間地型GP研修

プラン②：地域基盤型研究コース

アカデミックGP養成コース(博士課程)・MPHコース(修士課程)
 必修科目：研究方法論基礎（5単位）、疫学、生物統計学、環境衛生学、行動科学、健康教育学、医療管理学、臨床研究理論、質的研究理論（各2単位）。選択科目：臨床推論、高齢者・緩和医療、認知症、総合診療、感染症、東洋医学（各1単位）。

研究の方向性と環境
 岡山県・市町村との連携により、健診データ、臨床データ、レセプトデータなどを活用し、予防・臨床上の課題、地域の課題、制度上の課題等の解決へ向けた疫学研究や、プライマリ・ケア領域で必要とされる質的研究を含めた臨床研究などを実施する。



(1)(2)(3)：選択エリア (4)(5)：必修エリア

ローテーション例

1年目	エリア①内科6M小児科3M救急3M		
2年目	エリア①救急3M	エリア④内科3M	エリア③家庭医療6M
3年目	エリア③内科・小児科6M		エリア⑤地域包括ケア6M

